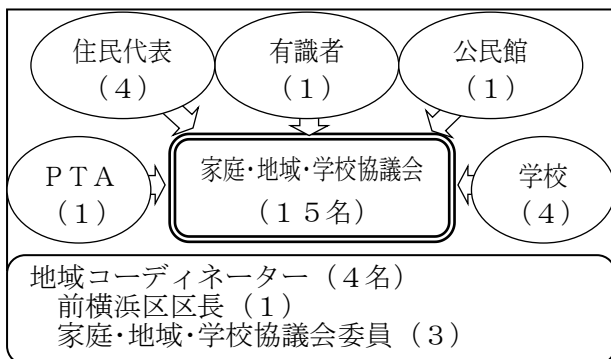


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 開催日数・年間6回の定例会
・他に活動内容により随時開催
- 開催日程と協議内容
- 第1回 (4月) ・趣旨説明、活動内容の決定
・学校経営方針の説明と課題
- 第2回 (7月) ・ふれあいフェスタの開催について
- 第3回 (9月) ・ふれあいフェスタの事前準備
- 第4回 (11月) ・ふれあいフェスタの実施
- 第5回 (11月) ・はぐくみの会の実施
- 第6回 (2月) ・学校評価結果の検討
・学校運営の改善

(3) 協議会における成果と課題

「地域と学校との協働」を軸として、おもにふれあいフェスタ開催に向けて準備をすすめ、11月に「わら縄作り体験」を実施した。協議会が主体となり、フェスタの活動内容の検討や講師の依頼、準備物の段取りなどを進めた。当日は、保護者だけでなく地域の方々にも大勢参加していただいた。メンバーが持ち寄ったスロージューサーで作った絞りたてみかんジュースも好評であった。毎年恒例の行事となっており、今後も引き続き協議会で運営する予定である。



講師の方とのわら縄作り



収穫したみかんジュース作り

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童・生徒がふるさと東浦のよさを知り、外部に発信する活動を重点とし、より一層ふるさとを愛し、ふるさとの将来について主体的に考え行動しようとする児童・生徒の育成をめざす。

(2) 活動の実際

① 「東浦みかんプロジェクト」 (小・中) (6月～3月)

- ・みかん栽培に積極的に参加した。(摘果6/20、収穫12/11、剪定3月予定)
- ・小学校4・5年生が北陸自動車道杉津PAで東浦みかんのPR販売活動を行い、多くの人に東浦みかんの特徴やふるさと東浦の美しい自然やよさを宣伝した。(11/29)



11/19 PR販売活動



12/11 みかん収穫作業

② 「伝統継承プロジェクト」 (小・中) (7月～9月)

県の無形民俗文化財「阿曾相撲甚句」を継承していくため、3年前より相撲甚句体験会を実施している。これは過疎化による人口減少に伴って、阿曾地区だけでの子ども甚句の実施が困難になってきたため、学校ぐるみで貴重な伝統文化の継承に取り組んでいる。今年度も保存

(様式3)

会の方々をお招きし、体験会を実施した。(7/16)また、女子児童・生徒も相撲甚句をPRするポスターを作成し、敦賀駅オルパークや東浦公民館、杉津郵便局に掲示していただいた。

相撲甚句当日は、阿曾地区外の児童生徒も積極的に参加し、地域の伝統継承に貢献することができた。



7/16 相撲甚句体験会



7/16 相撲甚句PRポスター制作



オルパークに掲示

③「地域への奉仕プロジェクト」(中)

生徒が自分たちのふるさとを見直し、地域の役に立つ活動について話し合い、シーズン前の海水浴場の清掃活動(7/2)を行った。実施に当たっては、海水浴場のある横浜地区からゴミ袋の提供、集まったゴミの運搬などの協力をいただき、地域と連携して活動を行うことができた。



7/2 海岸清掃



地域の方から感謝の言葉をいただく

(3) 地域コーディネーターの活動概要

みかん栽培やみかんPR活動についての児童・生徒への助言、各地区との連絡・調整

(4) 特に工夫した事項

- ・小学生と中学生が共に同じ活動をする中で、活動の経験の豊富な中学生が小学生に教えながらみかん栽培を行い、また、PR販売についてアドバイスを行うことができた。
- ・本年も相撲甚句体験会に女子を参加させるにあたり、行事のよさを伝えるための言葉を考えてPRポスターを製作することで、伝統継承に関わらせることができた。

(5) 成果と課題

児童・生徒の「地域のよさを伝える」意識 (「とてもそう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計割合)

東浦のよさを知り、他の人に伝えることができた。 小学生 100%

東浦のよさや将来について考え、PRすることができた。 中学生 90%

○成果

小学生が「地域のよさを伝える」高い意識を持って活動に取り組んだと答えている。相撲甚句PRポスターや、東浦みかんの魅力を伝えるPR活動の成果が表れたと考える。また、相撲甚句では阿曾地区の方の働きかけのもと、学校が地域と一体になって文化を継承する体制づくりが整ってきたと考える。

○課題

今後、さらに児童・生徒が減少していく。地域と連携してふるさと東浦を愛する子、地域の将来を考える子、地域に貢献しようとする子の育成が必須である。今後は、特に小学生が主体となっている東浦みかんプロジェクトのPR販売活動を、中学生がどのように発展させていくかを考えなければならない。地域の宝である「東浦みかん」をどのように地域の活性化に生かしていくかを追究し、地域の方々にも提案するような活動を展開していきたいと考える。

(様式3)